
経済 TOPICS

No. 175
(2020年5月26日)

景気ウォッチング（要旨）

I. 日本経済 … 新型コロナウイルスの感染拡大により、悪化している。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外需の急速な減少に加え、「緊急事態宣言」の解除が進んでいるものの感染拡大防止のための移動制約などにより、内需の大幅縮小も継続していることから、引続き悪化している。1-3月の実質GDP成長率は、感染拡大に伴う個人消費の減少を主因に、前期比年率▲3.4%と2四半期連続のマイナスとなった。

金融市場では、実体経済の大幅な悪化への懸念と経済活動の制約緩和への期待感などが交錯し、やや小康状態となっている。株価は 20,000 円台、長期金利は 0%程度、為替は 106~108 円/ドルで推移している。

II. 米国経済 … 新型コロナウイルスの大規模な感染拡大により、急速に悪化している。

新型コロナウイルスの大規模な感染拡大に伴う経済活動への強い制約から、生産や消費が急減し雇用も失業率が急上昇するなど、急速に悪化している。1-3月の実質GDP成長率は、感染拡大による個人消費の減少を主因に、前期比年率▲4.8%となった。

金融市場では、実体経済の大幅な悪化への懸念と経済活動の制約緩和への期待感などが交錯し、やや小康状態となっている。株価は 24,000ドル台、FFレートは 0%近傍、長期金利は 1%弱で推移している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
